

要請番号 (JL02416B11)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	G157 日本語教育		個別	交替 2代目	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

サバナケット大学言語学部

3) 任地 (サバナケット県カイソン郡) JICA事務所の所在地 (ビエンチャン特別市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

2009年に設立された学生数3500人の総合大学で、ビジネス学部、自然科学部、農学部、食品化学部、教育学部、言語学部がある。言語学部は英語学科とフランス語学科からなり、2016年現在の学生数は約450人、教員数は約35人である。2012年から2016年までJICA専門家が派遣され、産業人材育成アドバイザーとして活動していた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ラオス政府はサバナケット県に経済特区を設置し、日本企業向けの工業団地を用意するなど、外国企業誘致に力を入れている。現在配属先では長期JOCVが活動中であり、カウンターパートと共に第二外国語として日本語を教えている。日本企業の進出に伴い、サバナケット大学では日本語教育の充実を図っており、2016年から2017年にかけて日本語学科の新設を目指している。学科開設には手続き面、新規教員確保の点から時間を要するため、任期中に開設に至るかは流動的である。第二外国語として日本語コースを継続するにしても、カウンターパートが単独で授業を行うのは未だ困難なことから要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. ラオス人学生への授業の実施(1クラス15人～30人、テキスト「まるごと入門A1(活動・理解)」第5課終了程度))
2. ラオス人教師が行う授業のサポート、改善のアドバイス
3. カリキュラムやシラバスの整備
4. 日本文化紹介
5. 日本語学科開設に向けた側面支援(可能な範囲で)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

テキスト「みんなの日本語」、プロジェクター、スクリーン、CDプレイヤー、デジカメ

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・ 同僚日本語教師1名(20代女性、日本語能力試験レベルN3)
- ・ 対象生徒数約150人程度(専攻は英語、仏語)で第二外国語として日本語を学んでいる。※日本語学科が開設されれば、専攻する生徒数は15名程度になる見込み。

5) 活動使用言語

ラオス語

6) 生活使用言語

ラオス語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：同僚に指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（15～40℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】